

活動企画コンテストが開催されました

5月24日、石神井庁舎にて「H21年度 まちづくり活動助成事業 公開審査会」が開催され、46名が来場。『身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動』に取り組む団体に対して助成する、はばたき部門の審査が行われました（たまご部門は随時受付中）。新規の2組、一昨年度のセンター事業・区民企画講座から生まれた団体1組など、計12組が公開審査に挑んだ結果、11組の団体が助成の対象となりました。今回、惜しくも助成対象とならなかった団体は再チャレンジ審査を受けて、大きく活動をして頂けたらと思います。

また、審査の結果が出るまでの約1時間に、練馬区まちづくり条例に基づくテーマ型まちづくり協議会が提案を発表した『Nerima 景観まちづくり会議からの提案～テーマ型まちづくり素案説明会～』（主催：都市計画課）を開催したり、東大大学院生でアメリカ出身のジェイさんが『都市における農地』に関する研究アンケートを行うなど、練馬のまちづくりについて参加者同士と意見交換をする機会ともなりました。

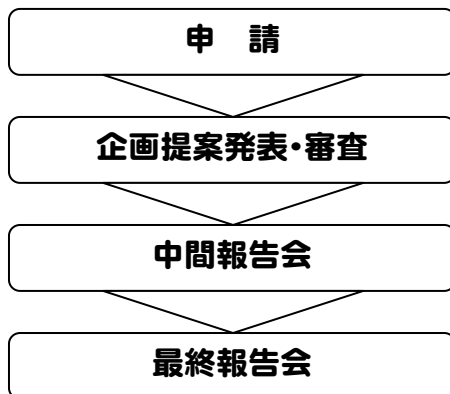
まちづくり活動助成事業とは

「まちづくり活動助成事業」は、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会の実現のために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的とした練馬まちづくりセンターの事業で、平成18年度よりおこなっています。平成18年度は11団体に100万円、平成19年度は15団体に230万円、平成20年度は17団体に総額310万円を助成しました。



H21年度 活動助成事業 活動企画コンテストの一風景

活動助成事業の流れ



◆助成部門は3つあり、はばたき部門は身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動団体、テーマ部門は身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創り出す活動団体が対象です。こうしたまちづくり活動をやってみたい、仲間をつくりたいといったグループの事前学習会等の取り組みを対象とする、たまご部門があります。

◆申請団体は、公開の場でプレゼンテーションを行い、審査の結果助成団体が決定します。

◆助成を受けた団体は、中間報告会や最終報告会に参加し、自分たちの活動を公開の場で報告。他の団体との意見交換（交流）をおこ

審査委員会

委員長	小泉 秀樹	東京大学大学院准教授
副委員長	朝倉 暁生	東邦大学准教授
	佐谷 和江	NPO法人まちづくり情報センター かながわ理事、技術士
	中村 忠昌	(株)生態計画研究所 主任研究員
	阪西 淳史	練馬まちづくりの会
	武田 実代子	元練馬区まちづくり条例区民懇談会委員
	黒田 叔孝	練馬区環境まちづくり事業本部 都市整備部長
	池田 孝	(財)練馬区都市整備公社 常務理事

審査結果

<はばたき部門>

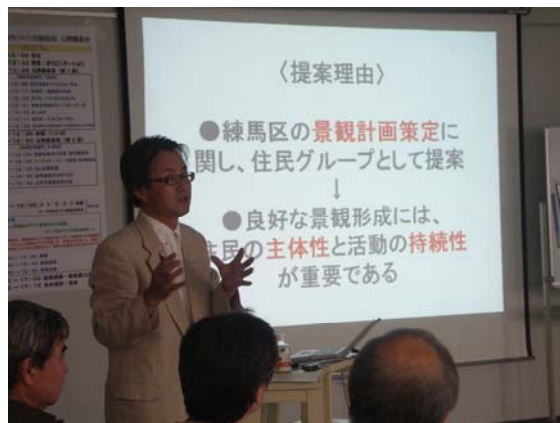
今年度は12団体が公開審査に挑んだ結果、11団体が助成対象となりました。昨年度から引き続き申請した団体の中には、これまでの活動をうまく流れに取り込んだ企画を発表していただき、活動が年々ステップアップしていることを実感しました。また、学生主体の新規団体も加わるなど、まちづくり活動助成事業も4年目となり、まちづくり活動の場や年代に広がりが出てきたように思います。今後の活動が楽しみです！

グループ名	得票数	結果	決定金額 (円)
光が丘まちづくりフォーラム	7	助成決定	229,230
石神井・冒険あそびの会	8	助成決定	146,500
ネリマ・ベジタブルカフェ	6	助成決定	227,900
中村小学校グリーンキーパーズ	7	助成決定	200,000
まっぷす	8	助成決定	170,000
ねりま・ごみフォーラム	7	助成決定	277,800
東京建築士会 練馬支部 木の香る住まいづくり部会	4	再チャレンジ	-
泉新小あそびの城 実行委員会	6	助成決定	143,960
アーティスト・イン・児童館 実行委員会	5	助成決定	193,600
なじみ研究会	6	助成決定	134,600
自然環境ねりまくらぶ	8	助成決定	102,580
白子川源流・水辺の会	8	助成決定	170,000

※上から発表順。得票数は審査員8名の得票（審査員は25点満点で15点以上獲得した団体に1票を与える）



発表後に、審査員からの質問やコメントが入ります。



審査の結果発表前に、練馬区主催の『歩きたくなる街・Nerimaの景観を育む』が開かれました。

今後の予定～中間報告会&再チャレンジ審査～

<中間報告会>

今回助成を受けることになった団体の、活動の進捗状況の報告を行う中間報告会を平成21年11月上旬（予定）で開催します。

<再チャレンジ審査>

今回、再チャレンジ審査の対象となった団体については、審査委員会からのコメントを受け、指摘事項について計画内容の改善を行い、申請書を再提出することができます。改善が認められれば助成金を受けることができます。